



2025年度
情報通信の
安心安全な利用のための標語

健全なネット社会を
めざして



標語 大募集



募集期間

2024年12月1日(日)～2025年2月28日(金)必着

《2024年度総務大臣賞》

学校部門 皆で一緒に考えよう

中傷に 大中小は
ないでしょう

(大阪府立八尾支援学校／大阪府)

個人部門 標語で啓発

親の愛 フィルタリングで
ふと気づく

(藪美陽さん／小学生※応募時／岡山県)



学校として団体応募いただいた場合
参加賞として、応募人数分の
クリアファイルを差し上げます
※応募部門は問いません



(2024年度版クリアファイル)

募集内容

■募集テーマ

情報通信の標語において

- ・「情報通信を安心安全に利用するためのルールやマナー」
「情報セキュリティの意識」を啓発するもの
- ・最近の情報通信の利用において問題となっている事例などを意識したもの

■募集部門

学校部門：学校としての代表作品を選び「学校名」で応募（1学校3作品以内）

※学校部門応募作品も個人部門へ重複して応募できます（詳細はホームページの「募集要領」をご確認ください）

個人部門：どなたでも応募可能

■応募方法

応募方法詳細は「情報通信における安心安全推進協議会」ホームページをご確認ください

●ホームページ：<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>

●メール：SSIC-HYOGO@fmmc.or.jp

●はがき：〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル4階
一般財団法人マルチメディア振興センター内
「情報通信における安心安全推進協議会」事務局宛



学校部門の
応募資格が
変わりました

表彰内容

■選考

●学校部門

- 最優秀作品：総務大臣賞 1点
- 優秀作品：総合通信局長賞・総合通信事務所長賞 11点以内

●個人部門

- 最優秀作品：総務大臣賞 1点
- 優秀作品：協議会長賞 3点※1
PTA関連賞 4点※2
- ネット社会の健全な発展部会特別賞 2点
- 企業優秀賞 数点

■発表

入賞作品は、2025年5月中旬以降「情報通信における安心安全推進協議会」ホームページで発表いたします。（受賞者へは個別にご連絡します）

■表彰

受賞者は、2025年度の総務省「情報通信月間」にあわせ東京都内で開催される表彰式典にご招待※3し、表彰状ならびに副賞（商品券等）を贈呈します。

- ※1 児童部門（小学生）1点、生徒部門（中学生）1点、一般部門1点
- ※2 日本PTA賞2点、全国高P連賞1点、全附P連賞1点
- ※3 表彰式典はオンラインでの開催となる場合があります

標語の活用

2025年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」における入賞作品は、広報・啓発ポスターをはじめ全国各地で実施される各種啓発事業・行事等において幅広く活用いたします。また、e-ネットキャラバン講座内でも紹介をさせていただきます。

協議会会員企業

Apple Japan, Inc. / 株式会社インターネットイニシアティブ / NTTグループ / KDDI株式会社 / ソフトバンク株式会社 / 日本電気株式会社 / 株式会社日立製作所 / 富士通株式会社 / 楽天モバイル株式会社（五十音順）

協賛会会員団体

一般社団法人安心ネットづくり促進協議会 / 一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構 / 特定非営利活動法人情報セキュリティ研究所 / 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 / 一般社団法人情報通信設備協会 / 一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会 / 一般社団法人セーフティーインターネット協会 / 一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会 / 一般社団法人テレコムサービス協会 / 一般社団法人電気通信事業者協会 / 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 / 一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 / 一般財団法人日本データ通信協会 / 一般財団法人マルチメディア振興センター / 一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（五十音順）

お問い合わせ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル4階
一般財団法人マルチメディア振興センター内 情報通信における安心安全推進協議会事務局

TEL 03-6704-5553

情報通信 標語

検索



<https://www3.fmmc.or.jp/e-netcaravan/>

■受賞標語は「e-ネットキャラバン講座」内でご紹介します。

e-ネットキャラバンは「安心・安全なICT（インターネット）利活用」に必要な気づきを広めるための啓発講座です。小学3年生から高校3年生ならびにその保護者・教職員を対象に全国で年間約2,500回開催されています。

【お問い合わせ】一般財団法人マルチメディア振興センター e-ネットキャラバン事務局
TEL.03-6704-5553 e-netcaravan@fmmc.or.jp

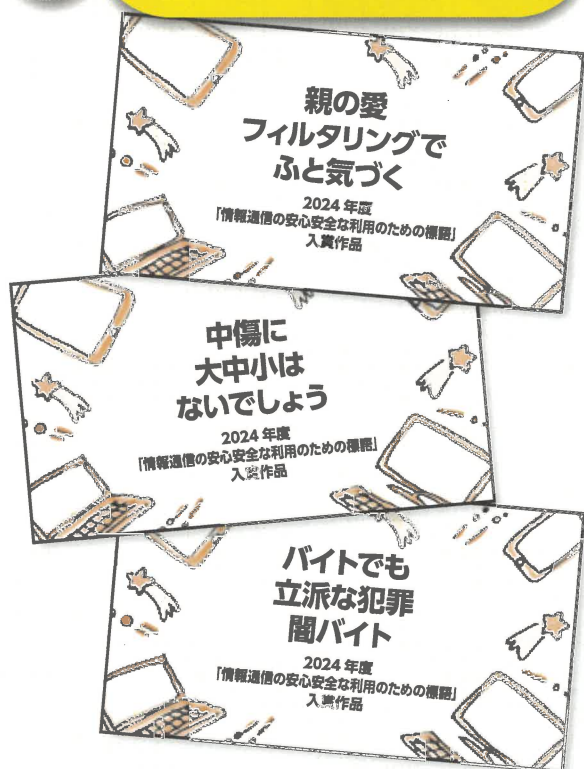
情報通信の安心安全な 利用のための標語

～情報モラル教育への標語活用～

教材

1

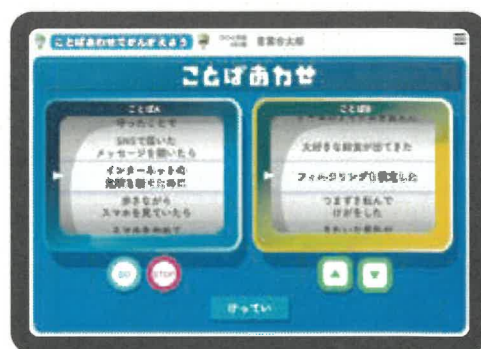
短編動画



教材

2

デジタルツール



ことばあわせで
かんがえよう



2025年度 「情報通信の安心安全な利用のための標語」 募集

募集
期間

2024年12月1日(日)～2025年2月28日(金)

詳細は下記アドレスもしくは二次元コードからご確認ください
<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>



詳細は裏面をご確認ください

教材活用の流れ

タブレットで
利用できます

授業や宿題で
活用できます

情報モラルを
学べます

1

短編動画を見る

動画(各1分程度)を見て、標語が生まれた背景を知ることができます

動画
(YouTube)に
アクセス

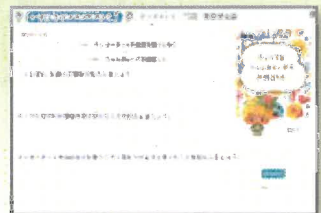


2

デジタルツールを使う

ツールや付帯するワークシートを使い
生徒自身がことばの意味や標語との
関連性を学べます

詳細は
こちら



3

標語を作る

標語作成により、情報モラル意識の深化を図るとともに、学びの振り返りができます

4

標語を応募する

応募することで、児童生徒が楽しみながら取り組むことができます

応募
方法

児童生徒の作品を、先生がとりまとめて
「学校部門」「個人部門」の両部門にご応募ください

応募は
こちらから



協議会会員企業

Apple Japan, Inc./株式会社インターネットイニシアティブ/NTTグループ/KDDI株式会社/ソフトバンク株式会社/日本電気株式会社/株式会社日立製作所/富士通株式会社/楽天モバイル株式会社

協議会会員団体

(一社)安心ネットづくり促進協議会/(一社)インターネットコンテンツ審査監視機構/(特非)情報セキュリティ研究所/(一社)情報通信エンジニアリング協会/(一社)情報通信設備協会/(一社)情報通信ネットワーク産業協会/(一社)セーフティーインターネット協会/(一社)全国携帯電話販売代理店協会/(一社)テレコムサービス協会/(一社)電気通信事業者協会/(一社)日本インターネットプロバイダー協会/(一社)日本ケーブルテレビ連盟/(一財)日本データ通信協会/(一財)マルチメディア振興センター/(一社)モバイル・コンテンツ・フォーラム

後援 総務省 文部科学省 警察庁 法務省

<お問合せ先>

情報通信における安心安全推進協議会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル 4階
一般財団法人マルチメディア振興センター内
TEL: 03-6704-5553 メール: cssic@fmme.or.jp

協議会会員企業・団体名

- Apple Japan, Inc.
- 株式会社インターネットイニシアティブ
- NTTグループ
- KDDI株式会社
- ソフトバンク株式会社
- (一社) 安心ネットづくり促進協議会
- (一社) インターネットコンテンツ審査監視機構
- (特非) 情報セキュリティ研究所
- (一社) 情報通信エンジニアリング協会
- (一社) 情報通信設備協会
- (一社) 情報通信ネットワーク産業協会
- (一社) セーフアーインターネット協会
- (一社) 全国携帯電話販売代理店協会
- (一社) テレコムサービス協会
- (一社) 電気通信事業者協会
- (一社) 日本インターネットプロバイダー協会
- (一社) 日本ケーブルテレビ連盟
- (一財) 日本データ通信協会
- (一財) マルチメディア振興センター
- (一社) モバイル・コンテンツ・フォーラム

2025年度 「情報通信の安心安全な利用のための標語」 募集

募集期間

2024年12月1日(日)～2025年2月28日(金)

詳細は下記アドレスもしくは二次元コードからご確認ください

<https://www.fmmc.or.jp/hyogo/>

問い合わせ先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル4階

一般財団法人マルチメディア振興センター内 情報通信における安心安全推進協議会事務局

TEL:03-6704-5553 FAX:03-3528-8006

e-ネットキャラバン

■入賞標語は「e-ネットキャラバン講座」内でご紹介します
e-ネットキャラバンは「安心・安全なIT(インターネット)利用」に必要な気づきを広めるための啓発講座です。小学3年生から高校3年生ならびにその保護者・教職員を対象に全国で年間約2,500回開催されています。

【お問い合わせ】一般財団法人マルチメディア振興センター e-ネットキャラバン事務局
TEL:03-6704-5553 Mail: e-netcaravan@fmmc.or.jp

情報通信の安心安全な
利用のための標語



学校の 取り組み紹介

「情報通信における安心安全推進協議会」では、総務省、文部科学省、警察庁、法務省後援のもと、各地域の総合通信局・総合通信事務所、教育委員会等の皆様と連携し、子どもたちの「情報モラル」や「CTリテラシー」を高めるための取り組みとして、毎年標語の募集を行っています。

2024年度の学校部門受賞校で、当活動に賛同
いただいた学校の取り組みを紹介します。

後援

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

文部科学省

警察庁
National Police Agency法務省
Ministry of Justice

大阪府立八尾支援学校(大阪府)

◆◆ 昨年度の支援学校入賞が取り組みの後押しに!総務大臣賞を受賞

★情報作成を生徒の当事者意識を高める機会として活用

本校では、基本的な生活習慣等の基礎的な力や豊かな人間性など、心とからだの健康をめざして「生きる力」を育む「教育方針」に掲げ日々支援を行っています。その中で、GIGAスクール構想以降学校や家庭でスマートフォンやタブレット型端末を使う機会が増え、安心・安全にインターネットを使うための学びも大切な要素となってきています。貴校においてもインターネット上においても、自己共に尊重しあうって生きていく社会をつつにつに、皆が当事者であるという意識をもっと強く持つ必要があると考えグループで協力して標語を作成し応募するに至りました。

★情報と国語の学びを融合し、自身の思いを作品で表現

情報モラル教育としては、総務省や文部科学省が公開しているコンテンツやリンクを活用しながら考えを深めていく、外部講師を招いてスマホ、SNS安全教室を開いてもらったりする取り組みを行っています。今回の情報作成では、情報モラルに関する考え方を基に、国語の授業で学習した「押韻」「対句」「対句」などの表現技法を活用していくように展開を行いました。「自分たちがどこのよきな社会を作っているのか」「どのよきになれば自分の思いが伝わるのか」を深く考えながら一生懸命取り組んでいる姿が印象的で、今後の学習活動への意欲向上にも繋がっていると感じています。

★受賞の喜びを共有し、新たなステージへ

今回の標語に限らず様々なコンクールに応募する機会がありますが、現状では高等支援学校の取り組みが多く、募集条件と学習段階が一致しない傾向にあるように感じています。そのような中、本コンクールにおいては昨年度支援学校が受賞している点が大きな後押しとなりました。総務大臣賞受賞から一カ月以上経っても色あせず、この賞は今後の学習に励みとして、今年表彰された標語を一人一面ずつ書いて全員で表現作品を完成させるリレー学習を行いました。作成した作品は校内に掲示し、他生徒や保護者に観覧してもらうことで標語に込めた意欲の共有を図っていくと考えています。



中傷に 大中小は ないでしよ

総務大臣賞

北海道石狩南高等学校(北海道)

◆◆ 情報モラル教育を通じ社会貢献できる人材の育成を

★情報モラル教育のまともとして標語を活用

本校は、情報モラルの授業のまともとして過去より何度も応募しており、2020年度には学校部門総務大臣賞をいただきました。おめでとうございます。応募のきっかけは、情報モラル教育のまともとして出てきたことを探していた時にホームページを見つけたことです。また、コンピュータ部では「コンピュータを学ぶまともとして社会貢献する」を一つの軸として活動しています。その一つとして「情報モラルを学び、多くの人に伝える力を養う」という理念のもと、コンピュータ部の生徒も参加した取り組みとなりました。

★情報作成を「共感を得る伝え方」の学びの場

標語作成を指導するにあたり「自分の身近にある題材を使う」ことの大切さや「共感を得る伝え方」などを大切にしています。また、模倣ではない自分自身の考えを重視するよう伝えられています。生徒はWEB上に掲載されている過去の入賞作品を見て「思った以上に面白くない」と反応し、創作意欲が刺激され、自分なりに考え楽しみながら標語を作成していました。

★主体的な学びを通じて、自ら創造する生徒を育成

炎上やネットでのいじめなどはほとんどなくなりましたが、ネットの依存については深刻な状況にあると思います。また、生成AIとの上手な付き合い方も考えなくてはいけないと感じています。本校は文部科学省のDX推進校となっており、新しい教材やAIなどを使い教育を進めていく中、情報モラルに関してもステップアップしていく必要があります。今回の受賞は生徒の意識を高める良い機会となりました。今後も「使いながら学ぶ」という本校の基本的な考えを継承しつつ、生徒の主体性や創造性を育めるよう取り組みを進めていきたいと思います。



確かめて ポントの言葉 デマとウソ

北海道総務通信局長賞

山形県立ゆきわり養護学校(山形県)

◆◆ 山形県で初入賞!日々の学びが形に

★冬休みの宿題として活用。情報モラルを考えるきっかけに!

冬休み前に中学部・高等部生徒、保護者を対象に「情報モラル研修」を実施した際、研修後の課題として冬休みの宿題に標語作成を取り入れたのが応募のきっかけです。生徒にとっては初めての取り組みでしたが、特に戸惑うことなく語づくと向き合ってくれたと感じています。「先生、すごくいい作品ができたよ!」という生徒の言葉が「考えるのが大変だった」と話す生徒もおり、反応は様々でしたが全員で情報モラルについて考える良い機会になったと感じています。



★日頃の取り組みにより安心安全な利用環境を構築

標語以外の情報モラル教育としては、GIGAスクール構想以降情報モラルに関する問題や家庭での悩みが増えてきているため、効果的な教育に向けて3年ほど前から毎年山形県警察本部より講師を招き情報モラル講習を行っています。それにより、生徒たちは情報モラルについてより深く理解し、保護者の方々も安心して子どもたちのICT利用を見守ることができるようになっていきました。

★校内が盛り上がり、情報モラル教育が加速

今回の取り組みで「東北総合通信局長賞」を受賞しましたが、局長自ら当校にお越しのうえ表彰いただき、また、地元の山形新聞に記事掲載いただくなど私たちが想像していた以上に大きな反響がありました。学校としても、校内に入賞作品が掲載されたポスターを掲示するとともに表彰式のビデオメッセージを生徒と一緒に見ることで、生徒や教員から「こんなすごい賞をもらったんだね!」という声がいっぱい聞かえてくるなど、校内全体の意識の高まりを感じることができ、今後の情報モラル教育への大きな手応えを感じております。



SNS 優しい言葉を かけようね

東北総合通信局長賞

常陸太田市立菅田小学校(茨城県)

◆◆ 児童の主体性を高め、可能性を引き出す教育を推進

★児童自身が考えるきっかけとして標語を活用

最近になり児童間のスマホやオンラインゲームによるトラブルが増えてきており、「児童自身に具体的な問題について考えるきっかけを与えたい」と考えていたところ、タイミングよく標語の募集案内が届いたことが取り組みのきっかけとなりました。今回は4年生から6年生までの授業で取り組みましたが、皆が楽しみながら標語を作っていたことが印象的でした。

★情報モラル教育を通じ、児童の成長をサポート

毎年5、6年生および保護者を対象に外部講師を招き情報モラル教室を行うなど、情報モラル教育にも力を入れ取り組んでいます。そのような中、今回の受賞により多くの児童の情報モラル意識の向上が図れ、とても有意義な取り組みになったと感じています。本校は、教育重点目標として「児童が考え、調整しながら活動していくための指導を工夫・充実し、児童の向上心を高める」を掲げ、すべての教職員が目標達成に向け取り組んでいます。これまでの教育活動の中で子どもたちの主体性が高まった結果、受賞につながったと考えています。活動以降、SNSやネットにおけるトラブルが減っていることを実感しています。



★地域から信頼される学校をめざして

今回、関東総合通信局長賞を受賞し作成した児童は大変喜んでいました。全校児童を集めた場で表彰するなど学校全体で喜びを分かち合いました。本校では情報モラルに限らず、いじめを無くすことを目的に、毎年「人権集会」を開き人権標語を作成するといった取り組みも行っています。これからも様々な活動を通じて、地域から信頼される学校となるよう取り組んでいきたいと思っています。



スマホより 家族との時間を 大切に

関東総合通信局長賞

広島大学附属福山中・高等学校 (広島県) 標語作成者:小林 咲緒さん

◆ 国際社会で活躍できる人材育成をめざし取り組みを推進

★生徒の自主性を尊重し中国総合通信局長賞を受賞

当校は、生徒の自主性に重きを置き、生徒自身の判断で行動するという教育方針を掲げ活動しております。その中で、今回の標語応募は二年生の総合的な探究の時間(創造)と「損言」から前者を選び、且つ音楽、美術、書道、国語と4つあるカテゴリーから自分たちが学びたい科目として「国語」を選んだ生徒の取り組みの一環として実施いたしました。元々国語が好きで言葉に興味のある生徒による取り組みであったことから、生徒自らが過去入賞作品を分析し、言葉の使い方や伝え方を標語作成に生かすなど、積極的に取り組む良い作品を生み出してくれたと思います。

★段階的な教育を通じて、安心安全なネット利用を推進

当校は、全国に先駆け中高一貫教育に取り組んだ学校であり、情報モラル教育においては中学一年生の段階から実施し、高校では各学年で内容を企画できるロングホー・ムールームを活用し大学の先生を招いて講演いただいたなど、生徒が安心安全にインターネットをできるような取り組みを行っています。また、標語に限らず生徒が様々なコンテンツに自由に応募できる環境を整え提供するなど、年代に応じた学習環境となるよう取り組みを進めております。

★自主性を育む教育にコンテストを活用

今回賞をいただいた生徒はほとんど喜んでいました。学校としても大変光栄です。今回の取り組みにより生徒の表現力が磨かれ、さらに情報モラルに対する当事者意識が生まれるなど大きな成果があったと感じています。その反面「引用の範囲を超えていないか」「法に則り対応できているか」などの点において徹底が難しい面があることも感じていますが、今後も、標語を含め様々なコンテンツを活用し生徒の自主性を育むとともに、日本のみならず国際社会で活躍できる人材の育成に向け取り組みを進めていきたいと思っております。



中国総合通信局長賞

「まあいいや」一度の公開 一生の後悔

高知市立横浜中学校 (高知県) 標語作成者:川添 太陽さん

◆ 学校・生徒・PTA 三位一体の取り組みで初受賞へ

★親子で考えるスマホ・SNSとの向き合い方

本校では、一年間のPTA活動の一つとして親子行事を企画・運営しており、活動の中で保護者から「子どもたちのスマホ利用やSNSの問題をよく理解していない」という意見が寄せられたことから、一年生の時に講演会を検討したことが始まりになります。講演会では「e-ネットキャパシティ」を活用し、その中で標語の話があったことから、授業の一環として取り組み応募をさせていただいたことがきっかけとなりました。

★標語づくりから見えた情報モラルへの深い理解

今回が初めての取り組みのため、もう少し戸惑いや苦労があるかもしれないと思いましたが、実際にはとても意欲的に取り組み、私たち教師の想像より短い時間でたくさんの方からたくさんの標語を作っていました。情報モラルは授業で聞いて理解しているものの「自分事として捉え切れていない」「自分はその様なことには引っかけられない」と楽観的に考えている生徒が多いのではないかと感じていました。しかし、取り組みを通じ普段から子どもたちがSNSの問題を理解し、きちんと考えることが見えたのはとても大きな収穫でした。

★子どもたちの思いが形となり、四国最上位賞を受賞!

今回「四国総合通信局長賞」をいただくことができました。この取り組みは一年生のPTA活動から始まり受賞に至ったため、生徒だけではなくPTAの方々もとても喜んでいただきました。この結果は、皆が一体となり取り組んだ成果でありとても誇らしく思います。授賞式の模様が地元テレビ局で放映されたこともあり「すごいね!」との声もたくさんいただきました。何より、子どもたちが思っていることを標語という形に形に成したものが四国最上位賞に選ばれたことが嬉しかったです。



四国総合通信局長賞

失うよ その投稿で 親友を

鹿児島県立鹿児島中央高等学校 (鹿児島県) 標語作成者:植松 そらさん

◆ SSH指定校として追求する、高度な情報モラル教育

★生徒の持つ知識を正しい方向に導くために標語を活用

本校は、SSH(スーパーサイエンスハイスクール)指定校として発表の機会も多いため、情報モラル教育に力を入れています。生徒の持つ情報モラルの知識は高いレベルにあります。その知識を適切な方向に導くには、段階的な取り組みを通じ繰り返し生徒に考えを与えることが必要となります。そのために、情報モラルの授業では「気づきを与えるきっかけ」として標語など様々なコンクールを活用しています。今回の標語の取り組みでは、情報モラルの本質を追求した作品が生まれ、また、普段の学校活動では推し量れない力を持っている生徒を発掘する良い機会になったと感じています。



★学校の役割を再認識!教員、生徒両面での教育を推進

他の情報モラル教育の取り組みとして、毎年、生徒に対して年度当初に外部講師を招いてのスマホの安全利用教室を開催しています。今年度は新たな取り組みとして、教員に対するSSH活動を行う上で不可欠な著作権に関する講座を開催し、学んだ内容を授業で生徒に還元することにも取り組めました。昨年、高校生による電子マネーを用いた詐欺のニュースが報道され、学校が果たすべき役割の重要性を再認識しました。本校としても、情報モラルに関する活動の手を緩めることなく取り組みを今後も進めていきたいと思っております。

★SSH指定校としての責任を再認識!更なる高みをめざして

今回、九州総合通信局長賞を受賞、表彰いただきました。とても光栄である反面、重責を再認識しました。先に触れたように、本校はSSH指定校として情報モラル教育にも高い水準を求め活動しています。また「著作権」「引用ルール」「外部発表時の発言の仕方」などにも力を入れて指導しています。これら本校の取り組みを通じて生徒がより高い意識を持ち情報モラルに向き合ってくれることを期待しています。

九州総合通信局長賞

その投稿 生涯消えない「ストーリー」

那覇市立寄宮中学校 (沖縄県) 標語作成者:新城 麻里奈さん

◆ 自分ゴトとして考える土台づくりに標語を活用

★情報モラル教育の一部として標語づくりを

本校では情報モラル教育を重要視しており、主に技術の授業でネットモラルを扱っています。一年生時は特別活動としてネット依存をテーマにした講習を行うなど定期的に情報モラルを学ぶ機会を設けています。毎年沖縄県警の担当者によるサイバー犯罪講義を行っています。標語づくりは、二年生時に行っており、授業の中でワークシート形式で取り組んでいます。

★楽しみながら、言語理解を促進

標語を作成する際、最初に過去入賞標語を使った「穴埋めクイズ」を行います。「空欄に入ることを考える」といったプロセスを踏むことで「思ったよりできる」「身近な言葉だ」と感じることができ、言葉や標語への理解が進んでいると思います。私は、本校着任前から情報モラル教育への標語活用を進めており過去には受賞経験もあります。それらの経験を生徒に伝えるとともに「頑張って賞を取ろう!」と話をしたところ、生徒みんなが意欲的に取り組んでくれたのでとても心強く感じました。



★生徒自身が考え、成長するために

本校では、「標語募集があるから作りなさい」ではなく、ネットでの事件や事故が増えているから標語を活用した啓発活動が行われているといった背景や、全国の小中学生が実際にネット犯罪に巻き込まれている数値などを伝え、「何故このような標語が必要なのか」を考えてもらうようにしております。生徒自身が考えることで「自分に関係がないことでは無い」という思いや「自分ゴト」として捉える姿勢が育まれ成長していると感じています。

沖縄総合通信事務所長賞

炎上中 叩くあなたも 着火前

講座開催 3 万回超 のべ 4 9 7 万人が受講

e-ネットキャラバン

別紙4



e-ネットキャラバンは
「児童・生徒」「保護者・教職員」を対象とした
「安心・安全な ICT(インターネット) 利活用」を
啓発・推進する活動です。
全国で無料講座を開催しています。



オンライン
でも
受講可能

受講料・
謝金・交通費
不要

全国どこでも
受講可能



安心・安全な ICT (インターネット) の利活用を学ぶ e-ネットキャラバンの無料講座

ネット依存、ネットいじめ、不確かな情報の拡散、誘い出し・なりすまし、
個人情報漏えい、ネット詐欺、著作権・肖像権などについて
児童・生徒に迫る危険の実態を正しく知り
トラブルを未然に防ぐための“啓発講座”です

※実機操作・技術的内容に関する講座ではありません

総務省・文部科学省が支援しています



総務省



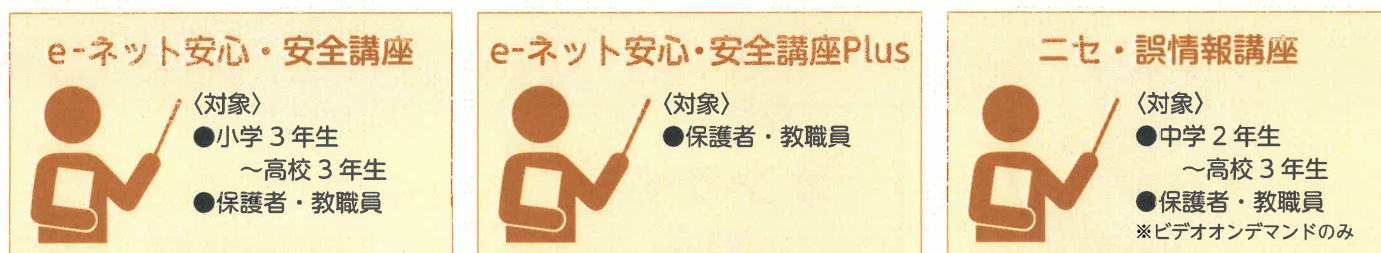
文部科学省

— 講座申し込みの流れ —

— ①受講対象者を決める —



— ②講座の種類を決める —



— ③受講方法を決める —



— ④ホームページからお申し込みください —

<https://www3.fmmc.or.jp/e-netcaravan/>



お問い合わせ先

一般財団法人マルチメディア振興センター e-ネットキャラバン事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目4番1号 虎ノ門ピアザビル4階

TEL 03-6704-5553

FAX 03-3528-8006

E-mail: e-netcaravan@fmmc.or.jp